

「健康さっぽろ21」最終評価

基本目標の評価(現状と課題)

1. すこやかに産み育てる

- 児童相談所の虐待受理件数は計画策定時より増加
- 思春期において、性感染症や薬物への正しい知識を持つ人の割合は少ない。

▶安心して子育てできる環境づくり

▶思春期の心と身体を育む取組の充実

2. 健康寿命の延伸

- 日頃から意識的に運動している人の割合は全国値より低い。
- 男女ともに年齢が上がるにつれて肥満者が増加傾向

▶生活習慣改善のための取組の継続

▶相談や健診を受けやすい体制の整備

3. 健康な地域づくり

- 健康づくりを担う人材・自主活動グループ・地域組織等の育成を実施している。

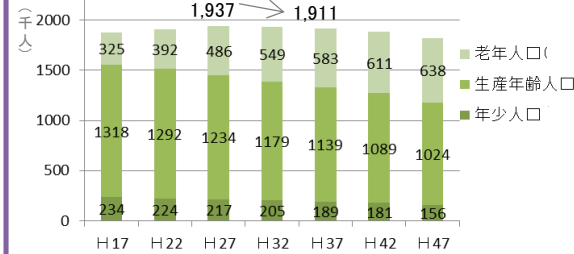
▶市民一人ひとりの意識を高めることが重要

▶地域の健康づくり組織のネットワーク化促進

札幌市の現状

○人口の推移

人口はH27をピークに減少傾向に転じ、H37にはおむね3人に1人が高齢者となる見込み。



- ・高齢化率 H17:17.3%→H22:20.5%
- ・平均寿命 H23 男性79.69歳 女性86.35歳

○合計特殊出生率

H23 国:1.39>北海道:1.25>札幌:1.09

○自殺者数

H15:467人→H19:419人→H23:434人

○要介護認定者数

H17:58,542人→H22:73,912人(増加傾向)

○介護が必要になる原因

介護保険第2号被保険者が要介護となった原因疾患 H24.3:1位 脳血管疾患(全体の57%)

○がんの75歳未満年齢調整死亡率

H23 国:81.3<北海道91.4<札幌市:92.6

○3大疾患(がん、心疾患、脳血管疾患)による死亡率

H23 57.2%

次期札幌市健康づくり基本計画イメージ(案)

基本要素

- 栄養・食生活
- 身体活動・運動
- 休養
- 飲酒
- 喫煙
- 歯・口腔の健康
- 母子保健
- 健康危機管理
- 健康行動

生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底

社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上

- ・こころの健康
- ・次世代の健康
- ・高齢者の健康

健康を支え、守るための社会環境の整備

- ・健康づくりを支える環境
- ・健康な生活を守る環境

健康寿命の延伸

健康格差の縮小

「健康日本21(第2次)」の基本的な方向

1. 健康寿命の延伸と健康格差の縮小
2. 生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底
3. 社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上
4. 健康を支え、守るための社会環境の整備
5. 栄養・食生活、身体活動・運動、休養、飲酒、喫煙及び歯・口腔の健康に関する生活習慣及び社会環境の改善